

ちょうふ環境にゆ〜す

刊行物登録番号 2024-132 2024年12月

第54号

未来へつなぐ調布の環境

発行 調布市環境部環境政策課

連絡先 電話／042-481-7086・7(直通) FAX／042-481-7550

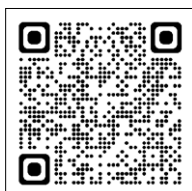
email／kankyou@city.chofu.lg.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。



ゼロカーボンアクションに踏み出すあなたの一步目を応援!!

広報紙「ゼロカーボンシティちょうふ」No.2を刊行



▲広報紙「ゼロカーボンシティちょうふ」
調布市ホームページ

▲第2号 ニンテンドースイッチで大好評のゲーム「PIKO PARK2」を制作した、市内のゲーム制作会社ジェムドロップ(株)がイラストを担当。

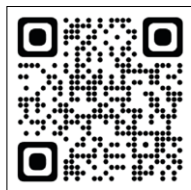
ゼロカーボンシティへ踏み出す一步目を応援する広報紙「ゼロカーボンシティちょうふ」を8月に創刊。第2号を12月20日に市内全戸配布しました!

調布に住んでいる方、調布に通う学生や勤務する方々、また、調布市内の事業者の皆さんが行っている「環境にいいこと」を掲載しています。市内全戸配布に加え、市の公共施設やホームページで入手、閲覧が可能です。ぜひご覧ください!

「令和6年度版調布市環境白書」を令和6年11月に発行

本書は、環境分野のマスタープラン「調布市環境基本計画」と、市域から排出される温室効果ガスの削減を目的とした「調布市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づく、市の取組の年次報告です。

市ホームページ、公文書資料室(市庁舎4階)、市内図書館でご覧になれます。



▲調布市環境白書
調布市ホームページ

飛田給駅前・調布駅前クリーン作戦



9月26日（木）に第6回飛田給駅前クリーン作戦、10月17日（木）に第13回調布駅前クリーン作戦をそれぞれ開催しました。

駅周辺の清掃活動を通して地域の交流や活性化を図ることを目的に、市民の方々や、事業者の皆様と共に清掃活動を行うことで調布のまちに愛着をより持っていたることを目指して実施しています。

当日は、自治会や商店会、事業者の方や個人参加の方など、飛田給駅前9団体90人、調布駅前22団体302人と多くの方にご参加いただきました。

お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。

秋の多摩川クリーン作戦

11月10日（日）多摩川河川敷で秋の多摩川クリーン作戦を開催しました。当日は993人の参加があり、多くのゴミを回収することができました。

また、今回はキューピー株式会社及び株式会社ネクアスから特別なごみ袋をご提供いただき、使用しました。このごみ袋は資源の有効活用と環境負荷軽減、社会課題の解決を図るため、両社が共同で研究開発したもので、卵殻を配合し、消臭効果があるものです。河川をきれいにしながら環境に配慮した新しい技術に触れる機会にもなりました。

ご参加・ご協力ありがとうございました。



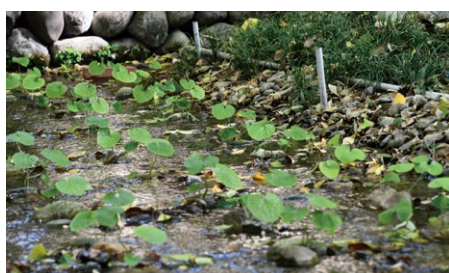
都立農業高校神代農場との共同イベントを開催

11月23日（土）に神代農場の散策イベントを開催しました。

市と同校は平成20年に相互連携基本協定を締結し、農場の自然環境の保全・保護等に取り組んでいます。

当日は25人が参加し、同校先生・神代農場部生徒の説明を受けながら、農場内の自然を体験しました。

児童が目を輝かせながら、サワガニやカブトムシの幼虫を捕まえている姿が印象的でした。



▲ワサビ田の様子



▲カブトムシの幼虫探しの様子



▲生息するサワガニ

第5回雑木林ボランティア講座を開催

雑木林ボランティア講座は、調布に今も残る里山の風景や雑木林を、市民と市が協働で保全していくことを目的としたボランティア養成講座です。

今回は10月26日(土)に開催した「雑木林の恵みを体験する」を報告します。

始めに佐須ふれあいの家で、講師の小池弘志さん(元都立農業高校講師)から深大寺・佐須地域の農の風景と変遷に関する講義を受け、その後、深大寺自然広場(かに山)に移動し、火熾しに必要な薪や花炭の材料となる松ぼっくり等を拾い、かまどで簡単な火熾し方法のレクチャーを受けた後に、花炭作りを体験しました。

参加した方からは「農の風景や雑木林を次世代に残していきたい」、「炭焼の原理が理解でき、花炭の美しさや繊細さを感じた」などの感想をいただきました。



▶完成した花炭
▼座学の様子



深大寺・佐須地域 公有地での取組

「稲刈り体験・さつまいも収穫体験」



▲稲刈り体験の様子
▶さつまいも収穫体験の様子

市は、深大寺・佐須地域にある調布市公有地を活用し、近隣小学校の児童や市民を対象に、里山や農に触れ合う体験型の環境学習を実施しており、今回は「稲刈り体験」及び「さつまいも収穫体験」を報告します。

9月20日(金)に柏野小学校北公有地において、地元農家の相田直人様指導のもと、柏野小学校5年生を対象に「稲刈り・稲干し」を行いました。ほとんどの児童が初めての体験であり、大きな歓声が上がっていました。



11月9日(土)にはカニ山キャンプ場北の公有地において、地元農家の青年部で組織する「里山プロジェクト」の指導のもと、市民の方を対象に「さつまいも収穫」を行いました。多くの親子にご参加いただき、ご家族で楽しまれている姿が印象的であり、来年度もぜひ参加したいとの感想が聞かれました。

市では、今後も深大寺・佐須地域の貴重な環境を保全していくとともに、公有地を活用した体験型の環境学習を継続してまいります。

調布子どもエコクラブ

近くにある竹林で遊んでみよう!

8月3日(土)に、カニ山キャンプ場北側の竹林で「近くにある竹林で遊んでみよう!」講座を開催しました。

市内の竹資源を活用し、ナタやノコギリで竹を切る体験や、竹の箸を作る体験をしました。参加者みんなで切った竹や作った箸を使って、駄菓子を水に流す「流し駄菓子」を行い、駄菓子をすくいました。

参加者からは、「普段使うことのない道具を使って貴重な機会だった」、「お菓子をすくうのが楽しかった」などの感想をいただきました。



▲竹を切る様子
▶駄菓子を流す様子



夏の親子向け講座

ガスの科学館「がすてなーに」バスツアーを実施



▲施設内の様子
(チョコレートパフェのフードマイレージを体験する様子)
※フードマイレージ：食料の輸送が環境にどれほど与えるかを示す数値。

▼「がすてなーに」キャラクター「ぶか」



8月27日(火)、小学生とその保護者を対象に、市とゼロカーボンシティ実現に向けた連携協定を結んだ東京ガス株式会社が運営する、ガスの科学館「がすてなーに」見学バスツアーを実施しました。

専門スタッフによるガイドや様々な体験ができるコーナーがあり、盛りだくさんで、「ガスがどのように運ばれるか楽しく学べた」、「ガスを大切に使うと思った」などの感想をいただきました。

CM

補助金を活用して快適に暮らそう

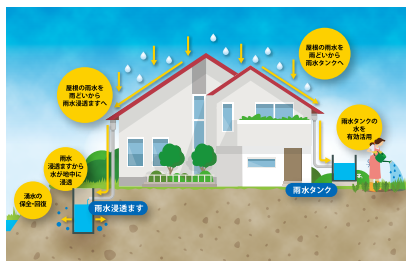
令和6年度地球温暖化対策補助金 予算に限りもあるので急いでチェック！

個人・住宅向け

雨水浸透ます／雨水タンク設置補助

令和7年3月31日(月)まで

雨水浸透施設の設置にご協力ください



●雨水タンク

市補助 **1/2**
上限3.5万



雨水タンク
調布市ホームページ

個人・既存住宅向け

調布市省エネ設備等導入補助金

令和7年1月31日(金)まで

●LEDへの交換 ●窓断熱フィルム



●リユース家電
(エアコン・冷蔵庫)



市補助 **8割**
上限10万

特設ホームページ



調布市省エネ設備等
導入補助金
電話042-444-1120

コラム

桜は一体いつ咲くの？

桜と言えば春に咲くイメージですが、秋から冬にかけて咲くことがあります、これを「返り咲き・狂い咲き」といいます。

このような現象は、猛暑や雨不足、強風、昆虫類による被害等により葉がなくなってしまった後、気温が高い日が続くと起こります。今年は10月、11月に夏日が記録されるといった異例の暖さが続いたため、全国各地で返り咲きする桜がみられたと報道があり、市内の多摩川でも11月に入ってから花をつける桜がみられました。

近年、夏～秋の気温が高くなっています。今後このような傾向が続くと、毎年秋にも桜の花を見られるようになるのでしょうか？

気候変動による影響の一つに「生態系の変化」があげられていますが、こんなに身近な桜で実感させられるのは、なんだか複雑な気持ちです。

